

## 令和6年度 教育実践研究発表大会

【同時開催】

令和6年度日本教育大学協会特別支援教育部門近畿地区研究集会及び近畿地区附属学校連盟特別支援教育部門合同実践研究会

【大会テーマ】

## 子ども理解に基づいた授業実践研究

“発達の視点”と“教師間の対話”を授業づくりの柱として(3年目)



日程：令和6年12月7日(土)

本校現地開催

※オンライン等での参加はできません

8:30 9:00 9:05 9:40 9:50 10:40 11:00 12:00 12:45 14:00 14:15 15:45 15:50

受付	開始式 全体会	公開授業	分科会① (公開授業検討会)	昼食 休憩	分科会② 実践報告(本校・他校)	休憩	記念講演 (滋賀大学 白石 恵理子 氏)	閉会式
----	------------	------	-------------------	----------	---------------------	----	-------------------------	-----

- ◆公開授業と分科会①につきましては、事前に申し込みいただきましたところにご参加いただけます。
- ◆分科会②につきましても同様に事前に申し込みいただきました分科会にご参加いただけます。公開授業と同じ学部への参加でなくても結構です。

## 参加申し込みについて(参加費無料)

- ◆申込締切：令和6年12月1日(金)17:00までにお申込みください。
- ◆申込方法：①本校HP(右記URLまたは右記QRコード)  
②下記URLまたは右記QRコード  
<https://forms.office.com/r/aXpntAyKPb>
- ◆資料は、各自で印刷またはダウンロードしてご持参いただけます。  
※詳細につきましては、参加者に追ってご連絡いたします。
- ◆定員あり(校舎改修中のため70名程度)  
※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。
- ◆昼食は、各自でご準備いただくようよろしくお願いいたします。
- ◆問い合わせは、研究部(主任：清水 研吾)までお願いします。

## 【問い合わせ先】

滋賀大学教育学部附属特別支援学校  
〒520-0002 滋賀県大津市際川3丁目9-1  
【TEL】077-522-6569  
【FAX】077-526-2279  
【MAIL】yougofuk@edu.shiga-u.ac.jp  
【HP】<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/ft>

&lt;本校HP&gt;

&lt;申込Forms&gt;



## 記念講演

講演テーマ：「発達と教育をむすぶ一人とのつながりのなかで自分らしさを育むために」  
滋賀大学教育学部 学校教育教員養成課程 障害児教育専攻  
教授 白石 恵理子 氏



今年度末をもって定年退職をされる白石恵理子先生の講演です。白石先生には、長きにわたり本校の教育、研究活動に携わって頂きました。本研究におきましても、白石先生の温かいご指導に励まされながら、日々の実践を振り返り、子ども理解を深めてきました。当日は本研究の事例などにもふれながら、発達の視点についてお話して頂く予定です。退職前の大変貴重な機会となっていますので、奮ってご参加ください。

# 令和6年度 研究発表会のご案内

本校では“教師間の対話”に基づく子ども理解に根ざした授業実践研究を継続しています。これまでの2年間は、子どもへの支援や関わり方の道しるべとして“発達の視点”に立ち返り、ケーススタディをもとに子(個)から学び合う教師集団づくりに取り組みました。今年度は、研究の基本的な考え方やスタイルをもとに教員が個別にテーマを設定し、子どもの願いを捉えた授業実践の開発と探究を行っております。その成果を広く公表し、皆様からのご批評を仰ぎ、さらに発展させていきたいと考えております。

なお、今回の発表大会は、日本教育大学協会特別支援教育部門近畿地区研究集会及び近畿地区附属学校連盟特別支援教育部会合同実践研究会との同時開催とさせていただきます。忌憚のないご意見やご指導を賜りますようお願い申し上げます。

滋賀大学教育学部附属特別支援学校 辻 延浩

## 公開授業・分科会①について

◆公開授業【9:50～10:40】 ※小学部は10:00～10:40

◆公開授業検討会【11:00～12:00】

\*授業者報告(10分) \*事後協議(40分) \*指導助言(10分)

学習集団 【発達段階】	教科 「授業単元名・題材名」	授業概要
小学部 Bグループ 【2歳半～3歳半程度】	ことば・かず 「たのしく おかひもの」	4月よりICTを使って学習を進めてきた。今回のテーマは「おかひもの」。絵本『おかひもの おかひもの』のストーリーをもとに活動に取り組む。買い物活動を通して物の名称や数について触れながら友だち同士や教師との楽しい“やりとり”を目指す。
小学部 Cグループ 【3歳～5歳程度】	ことば・かず 「〇〇屋さんへ、いらっしやい」	教師と児童とで一つの机を囲んで「クッキーパーティー」や「サンドイッチ屋さん」などのごっこ遊びをしながら、数の学習やコミュニケーションの学習を進めてきた。ごっこ遊びを通して、教師や友だちとのやりとりが積極的に行われることを目指す。
中学部 さつきグループ 【4歳半～6歳半程度】	美術 「おっ、こんなのできたよ展 ～偶然を楽しむ表現活動～」	2学期からはあらゆる表現によって偶然できた色や形を楽しむ活動に取り組む。絵の具を飛ばすと、落とすと、たらずと…。作品に光を当てると…。「おっ、こんなのできた!」と偶然できたものを仲間と楽しみ、認め合い、“さらに表現してみたい”という姿を引き出すことを目指す。
高等部 スピカグループ 【8歳半～14歳半程度】	美術 「あったらいいな、〇〇な雑誌」	年間で絵画・立体・デザインの制作に取り組む。生徒が「出来なかったことが出来るようになった」という体験や、様々なアイデアを出すことで、自分自身の個性を再発見したり、他者の良さを感じ合えることを大切にしたりする学習を進めてきた。本時の学習では、各自でオリジナル雑誌の表紙をデザインする。“読みたい”と思う表紙を生徒同士で積極的に話し合ったり、意見をもらったりして、それぞれが“作りたい”と主体的に制作に取り組み、自分だけの“こだわり”を活かした制作を目指す。

## 分科会②について

◆実践報告【12:45～14:00】

【12:45～13:35】 \*実践報告①②(各15分) \*質疑応答(各10分)

【13:40～14:00】 \*助言者による講評(15分) \*質疑応答(5分)

学部	実践報告	助言者
第1分科会 小学部	① 滋賀大学教育学部附属特別支援学校 小学部 福本 竜也 「ばくも、わたしもやってみよう!」～一人ひとりの活躍の場をつくる授業を目指して～ ② 和歌山大学附属特別支援学校 小学部 小林 史 「自分づくりを考えるカリキュラム」～キャリア発達の視点から～	白石 恵理子 (滋賀大学 教授) 富井 奈菜実 (奈良教育大学 准教授)
第2分科会 中学部	① 滋賀大学教育学部附属特別支援学校 中学部 炭竈 雄一郎 「休み時間における音楽LIVE活動を通して、仲間とともにあそぶことの大切さを考える ～自分達らしくありたいという願いに寄り添うために～」 ② 奈良教育大学附属中学校 特別支援学級 大谷 佳子・牧原 孝弥・山口 春菜 「知的障害特別支援学級における自分理解と育ち合い」	松島 明日香 (滋賀大学 准教授) 早野 真美 (大阪教育大学 特任教授)
第3分科会 高等部	① 滋賀大学教育学部附属特別支援学校 高等部 巻幡 知栄 「自分の思いを表現し、自分の考えを広げる授業づくり」～「へえ、なるほど、それもええやん」で語り合おう～ ② 神戸大学附属特別支援学校 高等部 下木 なつみ 「高等部3年間の陶工実践 教師主体から生徒主体に変容した授業づくり」	羽山 裕子 (滋賀大学 准教授) 高野 美由紀 (兵庫教育大学 教授) 石橋 由紀子 (兵庫教育大学 准教授)
第4分科会 地域連携	① 滋賀大学教育学部附属特別支援学校 発達支援室 谷 智代 「学習発達支援室の取り組み～附属校園との連携について～」 ② 京都教育大学附属特別支援学校 総合教育臨床センター 専任講師 伊藤 駿 「学びサポート室を核としたセンター的機能の充実」	窪田 知子 (滋賀大学 教授) 山根 隆宏 (神戸大学 准教授)

## お知らせ

次年度、日本教育大学協会特別支援教育部門近畿地区研究集会及び近畿地区附属特別支援学校連盟特別支援教育部門合同実践研究会は兵庫教育大学で開催を予定しております。

## アクセス

滋賀大学教育学部附属特別支援学校

◆JR唐崎駅下車、東へ約1500m(徒歩18分)

【JR湖西線利用の場合】 ◆JR膳所駅下車、京阪電車坂本行きに乗車、京阪滋賀里駅下車、約800m(徒歩12分)

【JR琵琶湖線利用の場合】 ◆JR大津駅下車、江若バス堅田行きに乗車、際川バス停下車、約500m(徒歩7分)

※駐車場の余裕がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

